



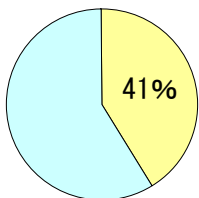
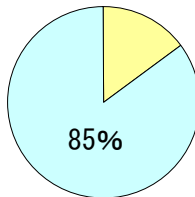
東北大学病院精神科「SAFE こころのリスク外来」<http://safe-youthcentre.jp> では、若者の精神障害の予防に向けた活動を行っています。今回は、外来での治療成績や事例を紹介してみました。紙面についてのご感想やご質問などは、info@safe-youthcentre.jp までお寄せください。



こころのリスク外来での治療成績

当外来には、これまで100名以上の方が訪れ、そのうち約60名が、「こころのリスク状態」と判定されました。この方達には、症状や希望に応じて、カウンセリングを中心とした治療やお薬を使った治療が行われました。

これまで39名が治療開始から6ヶ月以上経過しました。39名のうち、精神症になった方は6名で、全体の約15%です。残りの33名、全体の85%は精神症にはなっていません。精神症になった場合でも、すぐに治療が開始されますので、その後の回復が早いようです。



39名のうち16名、つまり約41%の方は、6ヶ月後には「こころのリスク状態」から回復しました。1年以上では、さらに多くの方が回復し、治療がまったく必要なくなった人も多くいます。

こころのリスク状態は、専門的な治療や支援によって回復します！



A君の場合

A君は、高1の夏頃から、**学校を休みがち**になりました。頑張って学校に行きたいのですが、クラスで他の生徒に**自分のことを悪く言われる**感じが強くて、学校に行くのが怖いのです。夜もあまり眠れず、時々、**遠くからゴソゴソと声のようなもの**が聞こえることもありました。

SAFE こころのリスク外来で、「こころのリスク状態」と診断され、1-2週間に1回ほど、約1時間のカウンセリングによる治療を開始し、不眠症には睡眠薬を使いながら、生活のリズムを整えるようにしました。2ヶ月ほどすると、症状は改善し、また学校に行こうという気持ちが出てきました。**対人恐怖**の症状には、**認知行動療法**を用いたカウンセリングにより、不安になりにくい考え方を身につけるようにしました。

1年経った今は学校に通えるようになり、経過も順調で、月に1回ほど経過観察のためにこころのリスク外来を訪れています。



SAFE こころのリスク外来のご案内



SAFE こころのリスク外来では、まとまらない言動や行動、軽い妄想、軽い幻覚など、精神症(精神病)の徴候がある14歳から35歳までの若者の専門治療を行っています。不登校、抑うつ、対人過敏、落ち着きなさなどの形で症状が出てくることもあります。

診療の予約やご相談については022-717-7737あるいはinfo@safe-youthcentre.jpまでご連絡ください。(同封のパンフレットをご活用ください)

また、若者のこころの病気についての啓発活動、専門研修などのご相談もお引き受けしています。